

教員免許状更新講習シラバス 【選択領域】

講習名	【選択】 保育実践の質向上を目指した振り返り（省察）活動の展開 －子どもの学びを支える保育者の学びの世界－
開催日	平成30年11月17日(土)
担当講師	奥泉 敦司（文学部講師）
講習概要	幼稚園、認定こども園、保育所における各種要録をはじめ、保育実践の裏側には、必ず振り返り活動（省察）が存在する。保育する幼児・乳児をはじめとするミクロな面での振り返りと、第三者評価をはじめとする保育を取り巻く環境等のマクロな面での振り返り（省察）活動が展開されてきた。 乳幼児期の保育を支える振り返り活動（省察）の捉え方に関して、倉橋惣三を源とする現代保育の振り返り活動（省察）の潮流等に触れながら、参加者とともに考えていきたい。
到達目標	1. 保育を捉えなおす機会としての省察活動の意義について学ぶ。 2. 平成29年告示の『幼稚園教育要領』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』における記述内容と省察活動の関連性を考え、理解を深める。 3. 日々の保育を捉える活動としての省察活動について、日々の保育実践を参考に、考えを深める。
受講者への連絡事項	特になし

時 限	時 間		内 容
—	8 : 30～ 9 : 00	30	受付
—	9 : 00～ 9 : 10	10	オリエンテーション
1	9 : 10～10 : 10	60	保育における省察活動－3法令改訂の視点から－
2	10 : 20～11 : 20	60	日本の保育における省察活動の展開－歴史と変遷－
3	11 : 30～12 : 30	60	保育者のまなざしを育む手掛かりとしての省察活動
—	12 : 30～13 : 15	45	昼食・休憩
4	13 : 15～14 : 15	60	省察活動を支える保育者の保育観 ①「保育」の捉えなおし
5	14 : 25～15 : 25	60	省察活動を支える保育者の保育観 ②「10の姿」を事例に
6	15 : 35～16 : 35	60	筆記試験
—	16 : 35～16 : 45	10	評価書記入、事務連絡